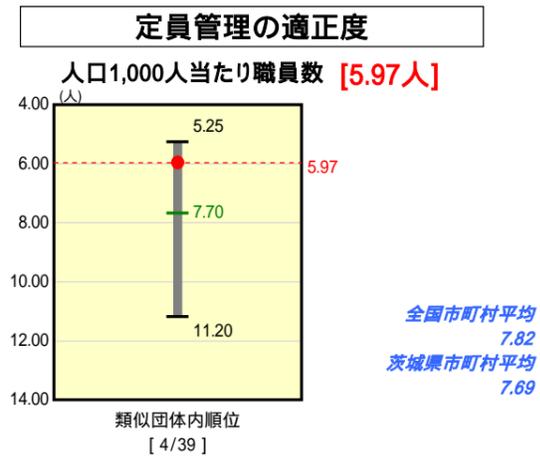
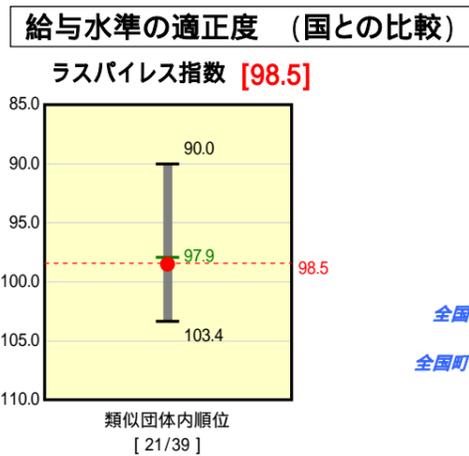
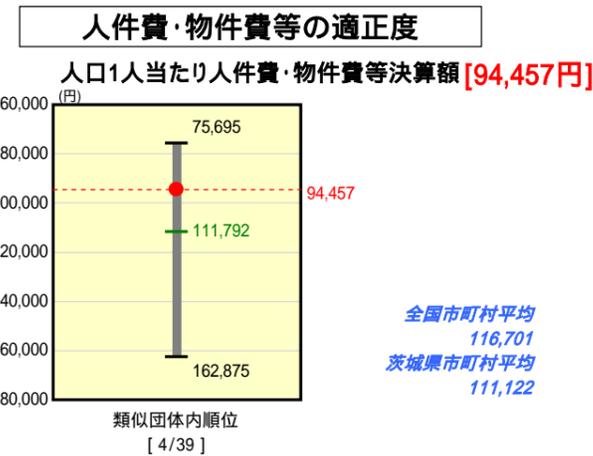
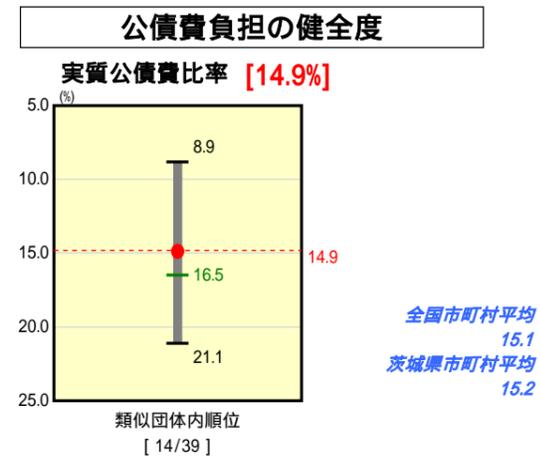
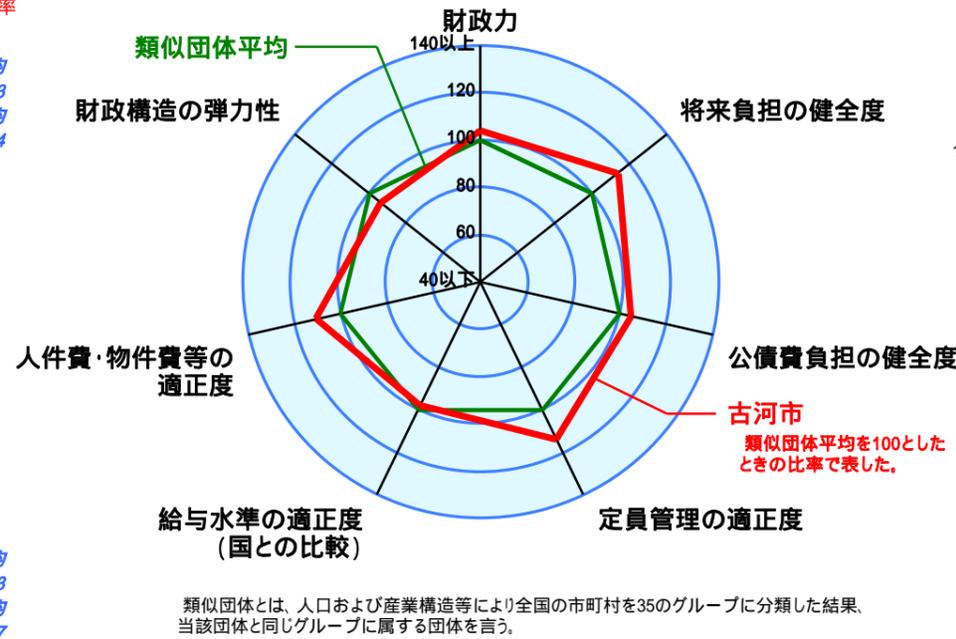
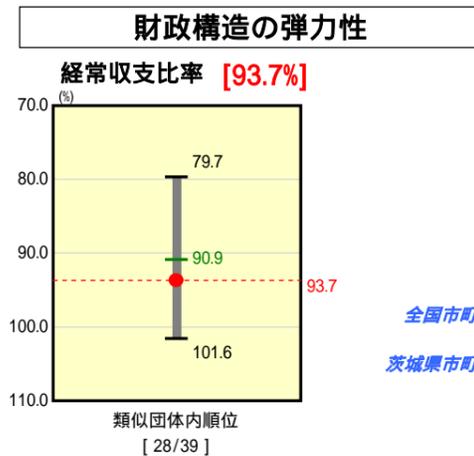
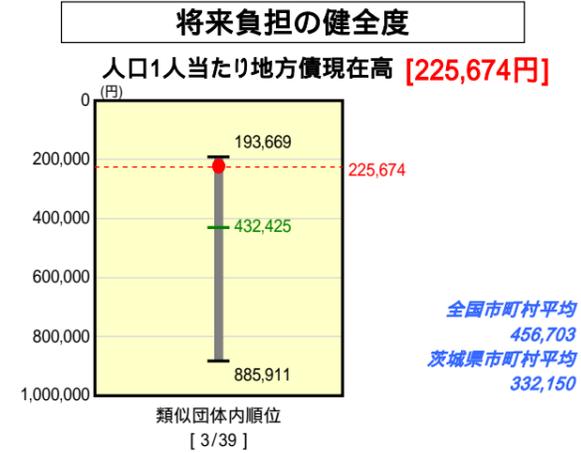
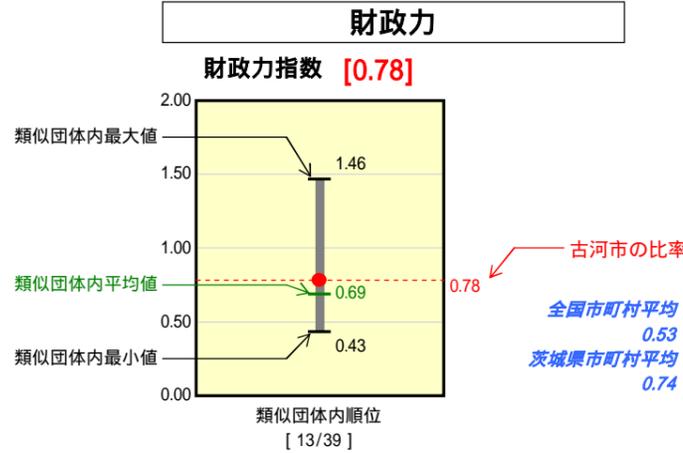


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

茨城県 古河市

人口	145,996	人(H19.3.31現在)
面積	123.58	km ²
歳入総額	40,563,004	千円
歳出総額	39,528,179	千円
実質収支	759,691	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】

類似団体平均を上回っている。引続き歳出削減、定員管理・給与の適正化、市税の徴収強化等に取り組み、財政基盤の強化に努める。

【経常収支比率】

前年度の92.0%から93.7%と、1.7ポイント上昇し、類似団体平均を上回っている。上昇の要因としては「分流式下水道等に要する経費」が追加となり、繰出基準が変更になったことが考えられる。予算編成を通して、内部管理経費の削減を図るとともに、公的資金補償金免除繰上償還の実施により利子償還金の抑制、縮減に努める等これらの取り組みにより改善に努める。

【ラスパイレス指数】

類似団体平均を0.6ポイント上回っている。管理職手当の10%削減を実施している。これを引き続き実施するとともに、特殊勤務手当の一部廃止、住居手当の一部廃止を行い、より一層の給与の適正化に努める。

【実質公債費比率】

類似団体平均を下回っている。合併特例債を有効活用して都市基盤整備を推進するとことから借入額の増加が見込まれるが、歳入総額に対する地方債依存度を10%以内を目安とするという基準を設け、現在の水準の維持に努める。

【人口1人当たり地方債現在高】

類似団体平均を下回っている。合併特例債を活用して都市基盤整備を進めていくことから借入額が増加するため、地方債現在高は増加傾向にある。歳入総額に対する地方債依存度を10%以内を目安とするという基準を設け、抑制に努める。

【人口1,000人当たり職員数】

5.47人で、類似団体平均を下回っている。定年退職者に対し原則採用を1/2とし抑制を図るとともに、組織の簡素合理化、事務事業の見直し、民間委託の推進を図り、簡素で効率的な行政体制となるよう適正な定員管理に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費決算額】

類似団体平均を下回っている。人件費については、採用の抑制、組織の簡素合理化、事務事業の見直し、民間委託の推進等により、簡素で効率的な行政体制を確立し、一層の削減に努める。物件費については、予算編成を通して、内部管理経費の削減を図るとともに、類似施設の統廃合等に取り組み削減に努める。